

新年の挨拶



代表取締役社長 安永 暁俊

新年あけましておめでとうございます。皆さまには、ご家族とともに明るく希望に満ちた新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

社員の皆さんには、平素より業務繁忙の中、それぞれの持ち場、立場で一生懸命に仕事に取り組んでいただき、厚く御礼申し上げます。

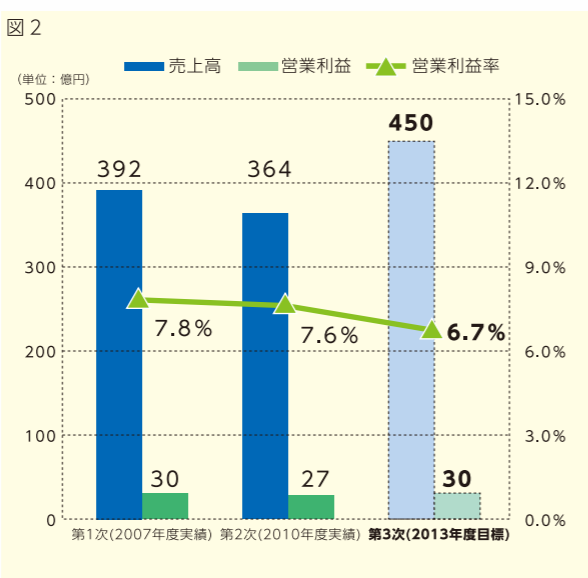
今回は、新年の挨拶として、前2号とは趣向を変えて、年度見直し計画と中期経営計画を中心に話したいと思います。

皆さんご承知のとおり、第2次中期計画（2008～2010年度）は、2008年後半のリーマンショックもあり、残念ながら途中断念を余儀なくされました。

仕切り直して、2011年度から第3次中期計画（2011～2013年度）をスタートしまし

中期経営計画

次に、2013年度事業目標を掲げます。過去の中期計画の最終年度実績（図2）とも比較ください。



この中期計画で高い目標を掲げていますが、全社の英知を集結して取り組みれば達成可能と考えます。

事業部への期待

続いて、事業部への期待を述べます。

〈エンジン部品事業〉

従来の戦略製品コンロッド、シリンダーヘッド、シリンダーブロックに、軸物であるカムシャフト、クランクシャフトを加えた、エンジンの基幹部品5Cの外製分野でトップを目指す。

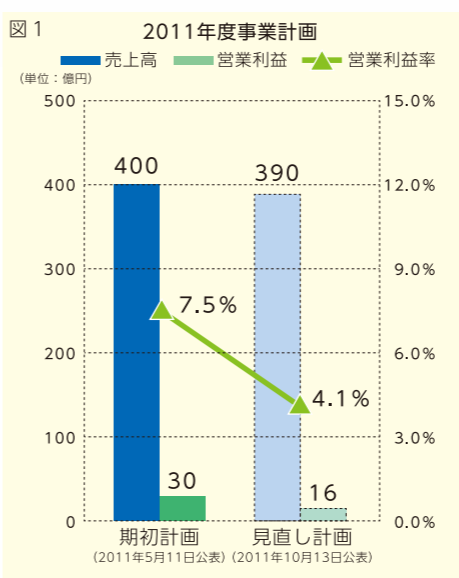
た。初年度にあたる2011年度を振り返ると、波乱に満ちた幕開けとなりました。東日本震災などの大規模な自然災害に見舞われ、自動車産業のサプライチェーンが毀損し、当社も対応に苦慮しました。

今後の復興の一助として、当社は義援金を寄付するとともに、仮設住宅向けの浄化槽用エアープンプの出荷をしております。

また、超円高や欧州の経済危機、中国の景気後退による影響も大きいものでした。世界の出来事で当社が大きく影響を受けることを、改めて肌で感じた一年でした。

年度見直し計画

当社の年度計画（図1）も見直しを余儀なくされ、次の予想としました。



当初計画と比べて、売上はあまり変わらないものの、エンジン部品事業のコスト増と機械装置事

〈機械装置事業〉

今後成長が見込まれる市場を見極め、得意とする技術に磨きをかけ、世界的な競争力を持った機械装置を開発する。その装置で、業界標準を確立する。

〈環境機器事業〉

新製品の開発と販売拡大を通じて国内外でのシェア向上に取り組み、より強固な地位を確立する。

国内・海外拠点への期待

事業部は、海外拠点と密な連携を保ちながら、海外での拡張を最大限に高めていく。

日本で、研究・技術開発およびマザー工場としての役割を果たすとともに、海外で、新興国の成長に伴って、活躍の場を広げていく。

3年先の期待

3年先を見据えながら、1年毎の年度計画をやり遂げること、目標達成にこだわることを強く意識してください。日々の積み重ねが、3年後の姿に繋がっていきます。これからの3年間を楽しみを持って取り組んでいきましょう。

活力ある職場へ

続いて、2011年4月号で、私が皆さんにお約束したことについて報告したいと思います。

全社イベントとして、11月13日にファミリーイベントを開催することができました。ご家族の方にも多数ご参加いただき、誠にありがとうございました。全社で活力を高め、一体感を作り上げて

業の太陽電池向け販売減により、儲けを示す利益が半減になってしまいました。会社の強さを表す利益率が悪化してしまい、大変に残念な見通しとなります。ここに、タイ洪水の影響は織り込んでおらず、更なる悪化は避けられない見通しです。

どうか各部署で、必要な支出について実行段階でさらに知恵を絞って抑えるとともに、無駄な支出がないか見直してください。

さて、目まぐるしく変化した2011年でしたが、3年後の2013年度に向けての、中期経営計画と事業目標について述べたいと思います。

中期経営計画の標語としては、2011年4月号で掲げたとおり『グローバルニッチNo.1』です。2013年までの3か年は、No.1へ向けた足元固めと考えています。

昨年実感したように、世界的な広がりや繋がりが進む現在において、それに対応して勝ち残るため、当社の会社規模でもキラリと光って活躍できる分野、独自の力が発揮できる分野を開拓する。その土俵で一流であり続け勝ち残る、そういう思いを込めて『グローバルニッチNo.1』を掲げています。

お客様が悩まれた時に、最初に声をかけていただく企業、お客様から頼りにされ、研究開発や製造協力でお手伝いできる企業、その様な企業となるべく、ニッチで一番の企業であり続ける。ニッチでの実績を積み重ねること、より大きな市場で勝負していきたいと考えます。

安全とコンプライアンス

最後に、私から安全とコンプライアンスについて、お願いがあります。

昨年は、労働災害や交通事故を数多く発生させました。8月には非常事態宣言を発令し防止に努めました。一人一人がしっかりと自覚して行動すれば災害は防げると考えています。

どうか、安永マンとして、「自分の身は自分で守りきる」ことを心がけてください。管理職の皆さんは、私が提言している「職場環境作り」の一環として、職場の安全が確保されているか再確認してください。安全の取組みは、皆さんを危険から守る仕組みでもあります。

コンプライアンス（法令遵守）や内部統制についても、まずは皆さん一人一人が意識して守っていただくことを心がけてください。それらは、皆さんが晴れやかに働き続けられる基盤となります。また、安全と同じく、皆さんを不正から守る仕組みでもあります。

昨年は、日本で様々な不祥事が起こり、日本企業のガバナンス（企業統治）への厳しい目が世界中から向けられています。守るべきところは守り、標を正して、健やかに働きましょう！

この2012年が皆さんとご家族にとって、良い一年となるよう祈念して、締めくくりとさせていただきます。